

# 砂川駅前地区整備基本構想【概要版】

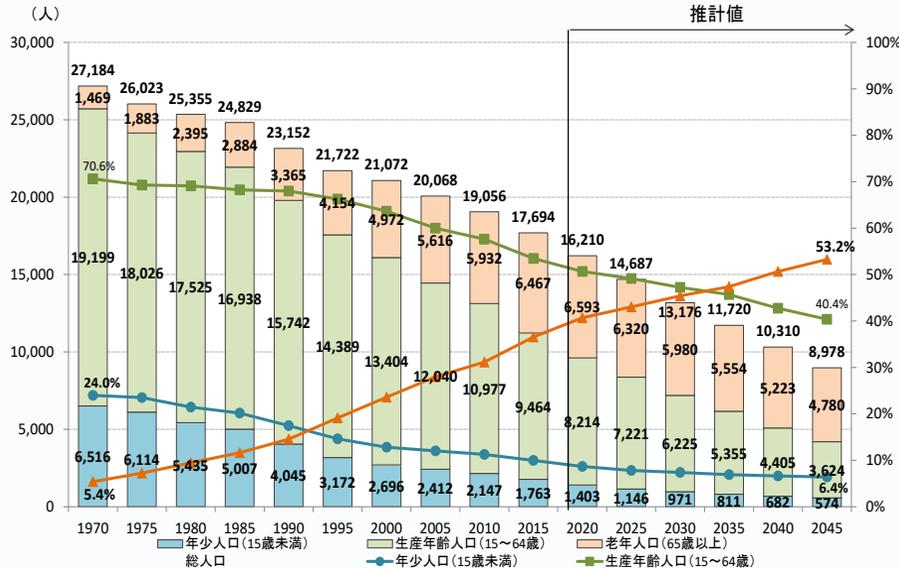
## 第1章 はじめに

### (1) 本構想の目的

本構想は、**まちなかの魅力を高め、賑わいを創出するための拠点**として、将来的な砂川駅前地区整備のため、**整備方針と事業化の方向性**を示すことを目的としています。

### (2) 砂川市の概要

- ・2019年12月末時点の人口は**16,848人**。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、**今後も減少し**、2045年には2015年比でほぼ半減すると推計されています。
- ・交通の面では、国道12号線の本市区間における交通量は**約2万台/日**、JR砂川駅の平均乗降客数は**約1,300人/日**、路線バスの「市立病院前バス停」における平均利用者は**約300人/日**となっています。
- ・産業の面では、国道12号線を中心に菓子店が集積していることから、「**すながわスイートロード**」として、官民一体となって街の魅力向上と域外へのPRを行っています。
- ・観光の面では、入込客数が多い一方で、**ほとんどが日帰り**であり、体験型や滞在型観光等の推進によって、観光の経済力を高めるポテンシャルがあります。



図：年齢3区分別人口推移と将来推計資料：平成27年度国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

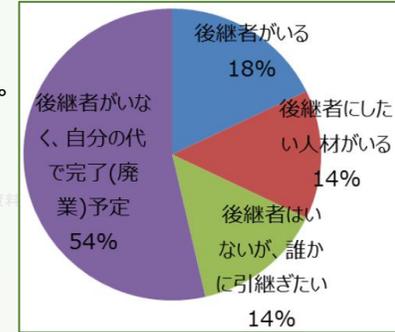
## 第2章 砂川駅周辺の現況及び課題の整理

### (1) 中心市街地に位置する砂川駅周辺の現状と課題

「第7期総合計画市民意識調査」では、「**商店街の活性化と中心市街地のにぎわい**」に対する**市民満足度が最も低く**なっています。

### (2) 中心市街地に位置する商店街の現状について

- ・「砂川商店会連合会アンケート調査」（平成30年度）では、経営者の半数以上が60歳以上であり、50歳以上の商店のうち**約半分が後継者不足によって廃業予定**となっています。
- ・「新たな商店街政策の在り方検討会中間取りまとめ」（経済産業省）によれば、**消費行動の変化と人の流れの変化**に合わせ「商店街が果たすべき役割も変化してきており、今の商店街をかつての商店街に戻すことを考えるのではなく、**商店街を利用する新しい意味をつくる必要がある**」と、方向性が示されています。



### (3) 砂川駅前地区の現状

砂川駅前地区は、中心市街地のまさに中心に立地しながら、現在は**空き店舗や駐車場が存在し、健全な土地利用がなされていません**。



## 外部環境

人口減少と  
少子高齢化

消費者嗜好や  
消費行動の変化

## 内部環境

商店街における店主の高齢化、  
後継者不足

**人口減少を  
前提とする**

**市場環境変化に対  
応できるようにする**

**駅前地区に位置する商店街を訪れる  
新たな意味を作る必要がある**

### 第3章 砂川駅前地区に対する市民ニーズの把握

#### (1) 市民ワークショップ

- ・バスやJRの待ち時間など自由に使える空間・カフェ
- ・地域のイベント等の市民向け情報等を提供する情報発信施設
- ・砂川名物を食べられるレストラン・カフェ
- ・スイーツロード商品のアンテナショップ等

#### (2) 経済団体からの提言書

- ・まち・ひと・活動をつなぐ複合施設
- ・公共・公益機関の集約と連携
- ・多くの市民、観光客が気軽に立ち寄れる施設の利便性を高める機能の設置等

#### (3) 市民意識調査

中心市街地の活性化に必要なものとしては、「**買い物の合間に利用できる休憩場所や飲食業の充実**」を求める声が多い

#### (4) 砂川高校生アンケート

- ・放課後や休日にふらっと立ち寄れるような施設であれば、時間を有意義に過ごす事ができる。
- ・電車やバスの待ち時間を利用して行いたい「友人とのコミュニケーション」

#### (5) 職員アンケート

- ・通勤や昼休み時に利用できる飲食店
- ・スポーツができる施設
- ・買い物ができるお店

### 課題及び市民ニーズの整理と整備方針(基本的方向性)へのキーワード

#### 広場 フリースペース

- ・居場所づくり、ふれあい
- ・繋がり、おしゃれ感
- ・子どもが遊べるスペース
- ・運動ジム(健康寿命)

#### 情報発信

- ・大型スクリーン
- ・ラジオ局のサテライトスタジオ
- ・市民向けも観光客向けも

#### 飲食店舗

- ・普段使い
- ・気軽さ

#### 物販店舗

- ・砂川を深く知って欲しい
- ・市民、観光客も楽しめる

#### はたらく場

- ・仕事で気軽に使える
- ・商工会議所での起業相談

基本的な方向性

日々の生活に潤いを  
与える市民のための  
“居場所づくり”

まちなかを訪れる  
“賑わいづくり”

人々を呼び込む  
“まちの魅力づくり”

コンセプト

**賑わいと魅力を生むまちの居場所**

### 第4章 砂川駅前地区の整備方針

【外部環境】  
人口減少・  
少子高齢化

人口減少  
を前提

消費者嗜好  
や消費行動  
の変化

市場環境  
変化への  
対応

【内部環境】  
商店街にお  
ける店主の  
高齢化、後  
継者不足

商店街を訪  
れる新たな  
意味の創出

### 第5章 事業化の方向性と今後のスケジュール等

#### (1) 事業手法の検討

砂川駅前地区整備における事業手法としては、整備方法及び管理運営方法において、様々な方法が考えられます。

公設公営	公設民営	民設民営 (PFI)	民設民営
市が整備 市が運営	市が整備 民間が指 定管理	民間が整備 民間が 運営	

#### (2) 実現に向けたスケジュール

令和元年度 基本構想策定  
令和2年度 基本計画策定※施設規模、用途等確定  
令和3年度 基本・実施設計  
令和4年度 既存建物除却工事、新築工事着工  
令和5年度 竣工・事業完了  
※スケジュールは変更となる可能性があります